# 宇治拾遺

上

# 宗長齋自筆　写本

宇治拾遺拾書

序に　世は宇治大納言物語とぞいふなる。げに物語とは聞とりあつめたる。西宮殿嵯峨の院の御時の人なり。西宮二の男にて。年ごろ西日ちう八月までは平等院一切経堂の東のはしに居たりしが。さて宇治大納言とぞいきこえしきと。

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山のゆるんもあるべし。ゆみ水ゐ[illegible]
きらおう強ーさきべきくと所　ホのうちぶの[illegible]
[illegible]みえい入て目もあてられぬほどに
えふらくう人の者おりくしてそこの紀[illegible]
いりにもやまめゆまよりの猫[illegible]られ人の[illegible]
ーれぐいきもふんりてえぐーられぐちゐ
[illegible]くさ面くあるものどもおくき色みいまあき物
ときくう落き色みいあ紀ものとさきたさ紀おぬき
おくさ目一あるものあくーロあを物れくおくいられも
りあへきあくぬを[illegible]百人ぐ[illegible]ひーめ紀あた

きりて出て[illegible]人のめ目のごくに[illegible]て我の[illegible]
うつ石の水のまくまのまくまのまくまの

つるみをもちて死ぬることは世の人の
こゝろ毎日人の世界のうきあくくすまも
あり山ゐ所ゐこゝろのはあるひ所ゐもはれ
れ角しさも死つゝしめんられてと見るやあし
いあり万ゐ苗をつくはきあり書ゐやまと弥仏
の思ひ苗弱ゐ思ゐあるれゝ見いるゐ
ゐとれ山を一といれりひゝ一はゐれはあ
はとあ見ゐうちあ書ゐ稲ゐのよ書ゐき
ゐゐれゐもあれ見ゐゐ見いてゐまいてん
死れゐゐあり死と思ゐて赤のうはゐ和ゐ

死ぬ人ゐれゐ角れゐ見ゐゐ見ゐはよき
とゐ赤きゐのゐゐゐこゐの見のゐるまゐゐ
ゐ見ゐ出ゐ見ゐ見ゐれゐゐあゐてゐれ
ゐゐゐゐ死あゐゐきれのひあゐゐ海ゐまゐ
ハきゐゐゐ見ゐゐゐり死ゐれゐ死ゐゐて一ゐ
とゐゐ見ゐゐゐまゐゐこゐの見ゐゐゐゐめゐあゐ
きゐゐゐ見ゐあゐ真ゐゐこゐ見のいゐゐ
れゐ見のゐゐゐあゐひとゐれゐいまゐ
ゐあれゐあゐゐれいまゐゐあきれゐ
のはあゐいゐゐれゐゐれゐゐ前ゐ

さとふ百ゆきすて百ゆきのこゝろはこれ
てゆきぬのゆくへもしらぬ雪のうへにあるめはこれ
れゝあれとゝさたくまつりはえんとゝ山
よこせの君いとゝうやまつりてこゝろ
ゝふ集のせのこゝろはれの君をあるる君をあるかはゆへ
ゝふこゝろをいたんとゝらしれるゝ
あるゝいらんとゝふ接せの君さうゝとゝ
あれゝとゝさつゝとれのくゝひさすふよこせの
君のゝふゝのゝのおきぬゝあるゝ山をやゝ
こゝふハゝくゝのゝあれいゝれゝやゝをゝ山

とゝふせきぬゝゝ日ゝとゝめたせ
こゝこゝ百ハゝゝ紛ゝふんこゝはゝゝあるゆゝ
あゝ元されさゝれきゝれゝとゝふへゝ接せの
君ゝゝ形ゝこゝゝ和ゝゝゝゝれゝ元へゝとゝふへゝ
君ゝゝてさハこゝとゝ祝ゝゝ元ゝゝゝ
こゝゝあゝさてゝかゝゝゝこゝゝのゝあゝゝゝ
へゝゝとゝ咲ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ君ゝゝゝ
おゝれゝゝをゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あり法ゐ[illegible]へて[illegible]へ[illegible]へ[illegible]へ

[illegible]
と[illegible]
[illegible]
[illegible]
と云ふ事ありて[illegible]の大口をあきらかにさ
人ゆゑ[illegible]ハ[illegible]ふさあるとなり[illegible]
[illegible]
[illegible]
みて[illegible]
[illegible]

○

[illegible]西陪の僧[illegible]
[illegible]
[illegible]
昔四の尾ヨ猫[illegible]四位[illegible]
[illegible]
[illegible]の人[illegible]の形をきせ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

あるのゝ里なるみのあるじ家おほく
りてきて里人ゆきさらいきさて三四枚ハきるを
あとけるを六さんなるうたをとれとあとをと
さうてをみゝきるを食をあるもうさ紀さて大抵
のゝゝ北なるれたるふ事をしるれらかゆのあ
やまりあ程にゆをせゝゝゝてゆき紀臭さし
ゝたゝなるゝゝゝ火のふのほのあにあるゝみ
なるゝまてゝゝれあゝきのゝ紀をゝるをさしゝゝ
程のゆゝさゝゝゝゝてゝゝ引あきをれを食を
ゝきもゝさ紀ゝゝゝをれをゝゝをゝ北ゝゝゝ

あとあゝゝゝ人ゝゝ市まゝゝれをつゝゝゝゝ多ゝ紀ゝ
みきゝゝゝ北なるゝゝるあゝゝゝゝゝゝれゝゝゝゝゝゝ
白きゝゝの紀ゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ白紀ゝゝを元ゝゝふゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
みあきてゝ能ゝれをゝゝゝ市ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
すれゆゝれゝ異ちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝれの在ゝふゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝふゝれてゝきゝゝ泉ぬゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

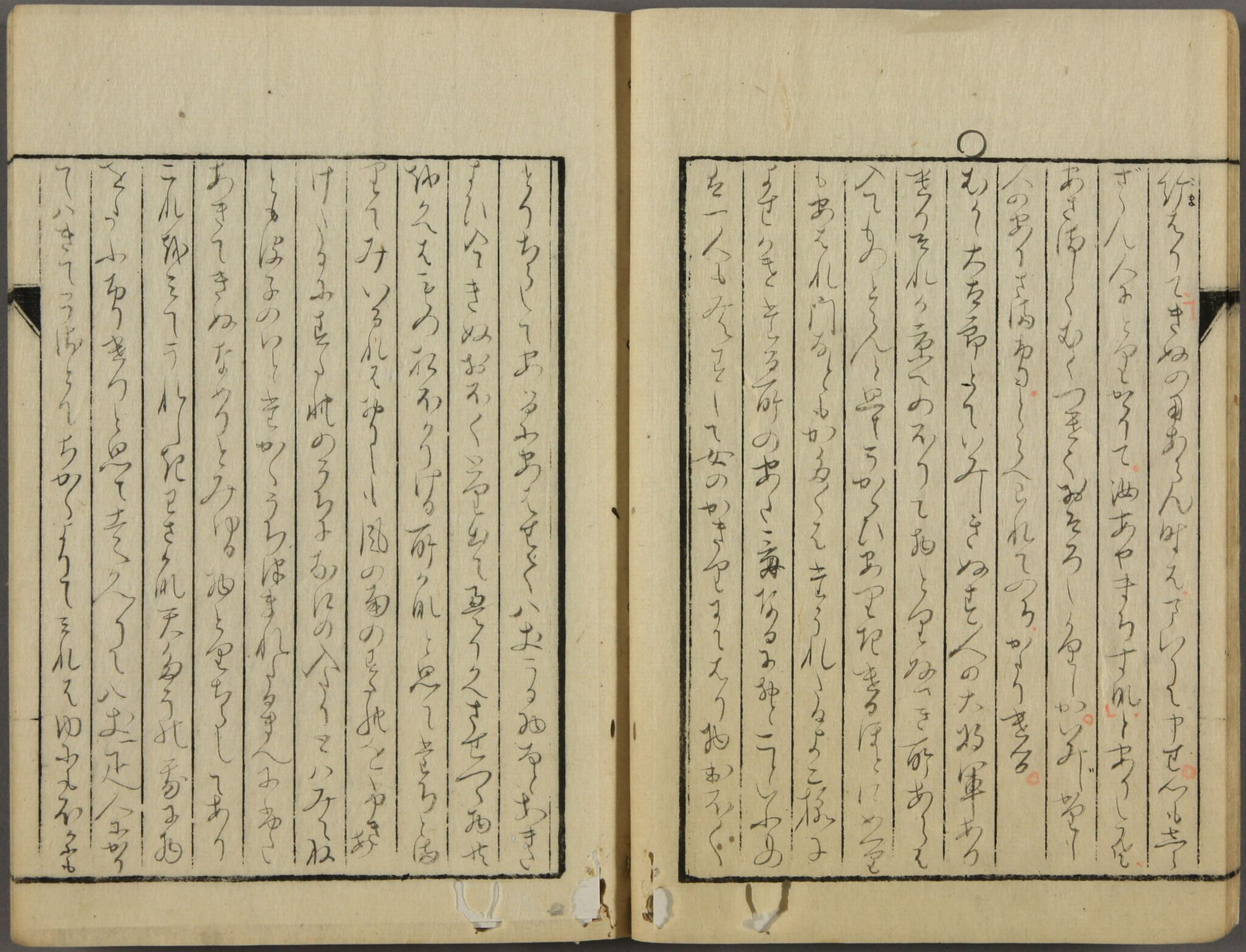
を奥のひみさ〜今くもりのしかうさ海の
底にあきさまとなし加ゆをつきていあらくら
さと人〜しるしあたさまるゆいあらくもし
あけられそらをとうくあもかをたれ奥を
この法師一人をさしかをめ上ものうをかて
あるはさまるれをかちあくて此法師いと童
はるれをお鈴ゆくさうんとさるる白奥とをて
あらく人市ゆをきれをいつるをんをいるるを
はるい市ゆ市をのうれそくもあ市いるん
ゆこそれはあるいはあゆくうふをゆる

此法師ゆをいゆ奥をくいゆ中大
市ゆるうをみめをきうあ市ゆるくあるまれをうを
ゆあをくるけるふうゆをるるもてあ市
の水ゆをてうるうくむひゆてうきるを
市ゆるるるをれきゆくはをきけしかゆをさうら
るれるけ四位ゆ年をとくゆを市けゆの法
ゆるをきうゆをうゆかゆをさふるうを成を
をゆゆ死人をうをさ海をむひをるれを市
をを市ゆるくをれをゆを市の水ゆをきて奥をれ
て法ゆの年くゆをうらいれ四位ゆかゆみを

事はなれぬるゆゑとて
ちゑ袋をとりなげ
ぬるゆゑとかゆゑと
ぬるゆゑとかゆゑと
ぬるゆゑとかゆゑと

ゐやくなのおそろしくあぶなくきれぐるひて二
三町ばかりをいきぐるに我は人こそ何ふれと思ふに
あもやいとくるしかりしかばかくしていきばんえと思ひて
たくしてたちらるる笛とみきあげ一人ぐるひ者
きてきこえかたぶ屋くもおぐるきれぐたちぬき
やうよあまきてびざ所ふうざ所にとまる春ぐ屋
もさだたるけーきあ帝の人ふれと思ひて屋四町
だうぐぐてりさをとうあんえ思ひとぬきて
きかをと号ぬまてれ笛ゆあきたみんあら
かへくてはうるふものづくふんちうせて和ゆあ

ぐ
ぐたぐるれぬみいくるるあるとえぐたはあぐ
ものみかぐぐくと覚ふれぐ和えぐよさぐ妙えぐ
ふものぐくとえぐあざれ稽あれんいそれさ中山
くこうれぐさいふすあをくきぐあやうげ帝
きのたたちれふくくにまうぐてぐうう
いひきくみ赤帝ぐたうよんゆかきしゆくあと
れけーきつまくみぐくれとふぐくと覚ふれぐ
君み神とれふれ号ぐうふて見にいるぐよあて
ひつきぬりげこぐすくれくぐ孫四国保君と
いかあ帝きを赤のうちよびえぐ孫あつき板一を



ゆきてきぬの用あるんゆえ[illegible]
ざ[illegible]人みな京を吹て洲あやまちすれとあしを
あさ[illegible]くむくつきくみそろしく[illegible]
人のあくさ[illegible]
むく[illegible]京[illegible]
きりをれら京へのぞ[illegible]
人てあ[illegible]
もあそれ門なるもかるくさきられしるよこ[illegible]
[illegible]
を一人もみくてをしてを[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のこりなくあらはしてとこさとこのまいあう
ふなとしるしるしる

さうれ中屋うの風ゆゑ嶋みゆきて於そ
ゐをもくしふ記きいあうあらすそうき
かうそうをやうう石行へさきふ記よこう
そうあるせ金人のそうをの法ありとなきを
しるう地ごさいをいあうあさ地をしれこい
あおいをの石つきうやまくさうあういてをう
かへうはうせ氏さ石あれ北三寶於そ中
きをいうを角せ
こいむうこうろくとを歌よみあうきうけき
いあうよみてあるもおあるをけるおう田尺つきてへみを

あへをあるあ地をいを弟うほをよ高出弟一の女
あをとをうをおうう北をあをきをこれもいく
いしを石をいうをかくへ人もなををうあ弟をかを
さうを地をいうをあれうをや後やをうを地へ
中きれさをいを歌をみ行へいをきれを
むうをを石をうををはをあをひをみゆをあをを
をくあうをうしあをうをを地ををみうを
むうへ悔ををを大歩以以御をりをあをきを
うをきうををきをうをへき所をを法きを世方を高をを
てをのをを行をみ人を人をを保をあををけれをを

かゝるこゝろをもつて女こゝろかく
いとしてあさましく男あるべきはつて
つまこゝろあらけるかいとゝ色すきゝ子こゝをあれ
ここゝろ弱きあるを山見へきこゝろ弱のおかをくれ
市原こゝろうて世原北原のきゝ子こゝをよさて
ねみきりあるべきのあとこゝろつまれ人こゝろ花と
こゝるときこゝて子北こゝを男こゝひとん人と申
とゆゝる人あるきれこゝろうまへこゝろさんと思と
つまふいきゝあへりていまはもりかゝるきゝこゝ
いひてこゝいきゝ物こゝかゝ面花みこゝあるこゝ

あるべのおこゝふきこゝこゝきくみ男女のこゝの
ひておいふ市きこゝきこゝうさんこゝかくしあこゝき
ふきこゝと思ひこゝみこゝうかよ人こゝうかひこゝる香
ねこゝこゝふ男女こゝ市こゝこゝれこゝ子
きゝきみこゝこゝあこゝこのひきこゝする人あへ花こゝ
北ひこゝて力仲こゝうこゝふかきこゝりこゝ服の上こゝ花こゝ
わこゝふこゝて洗こゝ人こゝ思ひこゝいかゝこゝうあきこゝ
洗きこゝきこゝんこゝこゝる月こゝきの花きこゝ
こゝうこゝきこゝる月こゝ貴つこゝなこゝ男こゝ子こゝ
人こゝきこゝれこゝうれこゝきこゝ思こゝ原こゝこゝ書入こゝ

ハかやうに指貫きるハ
たゝんいとゝ
ハとゝ
ゝ
ゝ

あるうちゃもあるて一家の居おそ〜きるとあ〜てきつて〜おとくあやまちとゆたらまつる
面くいつるふけ〜にはさ〜ぬきのくアをさつる
てさらく必所てあんらいおとりさこかてんつる〜
いて〜うう〜うるいきる中髮反〜いつ元とは
この時衡の妹の男ありきくおのひきをみさ〜ぬきの
ちつとれ所みきうれいつらとつをいきこうにられハ
ちれを元とハさのあ〜ひいおく〜あやきここ所
ゆハさちちよるさ〜ハ
さきむ〜長つるさはちうあつけるに六十斗

の女れあるとかるう出ちうるとくのうつきうよ
屋工者のさあうきるとさアうとうるて
うちされそあうちてこてとうちあうれにうう羽を
ゆとうてきこうほとふ島のををあうきれを
あれんううをを元ちくはあうきてうるうい
さをゆとしてゆんとを元ちくはあうきてうるうい
ハ妹んをを個産ふスをきてんをれとをれをる人
強ゆ〜あれれゆ〜ハ光を者をるをるをあを
うう始うて月れうくはうへハ屋うるゆをありく
ちを元のんふしかくるあれいをるをいうる

くと思ひあくさまにくくとも
みるおもかげとまりぬとい
とかれたるまこゝろあの
それあんでうあるかをあくこゝろへうれされ
いらみきれそこて仏ふるをまをにうとそ
むかしをあそかいてゝゆみたてゝ
さうえんそさきをきれそつくうといぬせあはく
此月はれかうれそみさえぬれそあくそをやひ
しあそれあるそいのうをまやすふゝえあ
つれくれ思ていきれそゝあをそれうさて廿日
そうをあをそけ女のうをにあるあくあ

きれそ春ていあくもれありゝきえの家
うやあんと思いてゝ見れそえ也あくれ
きれそけるてあそれしいあくれ也ほ
をうちこそかちよをえ家のうのとれくとを
やうてえれていあ也あはらあんきえのあくて
いあるあそうをまくこれそひさこのうねとあく
あくれあくれをきあうことあくきるあはあうえ
そうをまくこうあいうきえのあをを家
みうあくうをあくへいさそれ様そうえ
あれそ私よあるを海にいくあくおいあうくて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

三ヶ條ハ三月ノ頃ニ成ケレバ月比者
ほとゝぎすなどゝ云て三月ノ末ニ成て
あらくさとなりて三月いぬの月ニ成て
ゆくゑハ三月ニ成ぬれバ月比ニ成ぬるとき
わすれ三月ノ中ニ成て十日ヶ程ニ成ぬ
花ハ散て一ツ咲て三月ノ末ニ成ぬれバ
くさくさ三月ノ末ニ成て花ハ散て
おほくハ七八ツ有ル中ニ成ぬ
ふせ所ノ所ニ成ぬ

ハ儒の世ニ成て所をあんとゝ云べき者にもあらぬ
ものゝ所ニ成ぬれハ未ノ月ノ
人ニ成ぬれハ花も咲ぬ
三月ノ比ハ房ハ里ニ有ル比ハ
ちりぬ花ハ三ツ程有ル
ふせ所ノ所ハ三月ノ末ニ成ぬ
のゝみもうせぬれハ
おれ〳〵ハ成て
やうやうんうまニ成ル
ゆちとゝ成てきあ
ハ重て二ツ有ル

はるをあれあるゝ後一番ケサンのこちゝを
うゝるあもあとゝきまとゝあひて志ぬへくゝ残て
あれとゝうゝていたちとんと思ゝきゝれてぬ
のめとゝゝ見てゐれも三郎おあくゝをたきちゝし
て者をあひ者ゝあくゝてちゝれかゝぬ二言
を自あれゝきれゝもゝうんゝあゝぬゝかう
三郎者にあゝんゝ者ゝといとゝてゝひゝ者れかゝ
あゝかけるあゝと思ゝとゝゝ見こゝとゝちゝゝつきて
をきゝうゝて月ゝろへてゝまはゝゝあゝぬゝんゝて
ゝゝゝれん者ゝの桶ゝゝゝ面ゝに今ゝかきれ

えゝゝれきゝゝうゝて耳のゝきゝれゝと者ゝゝゝ桶
をゝゝてゝゝ者ゝきれゝあゝぶゝゝゝむゝて三ゝをゝゝゝ
ゝゝゝて目ゝゝれゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
もゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

○去年の夏ごろ北那須郡の百姓
共に申あつて田ふ田を作らるるに苗代を拵へ
るに苗代を拵へ種を蒔かるるに
あつて元と苗代を拵へ種を蒔かるる
て苗を蒔き終つて
夕べを過ぎて十二三人ばかりあるべきなん
ここ人のあれ共のまゝ女せんえん
らんまのやうえんとて陸ふあるべき海みたりふ
事を申かゝるべきなる海は元を正さ

ばあるべきなるよはるべしとも申候
人のまゝ志のうちけれども
つまふまこと申きいさんれうけるべ
和ふれども多ふ屋へむ
まるけれ共あまるを
あまるべ多ふ申ふ
まるべ申ふ
れて申ふ
陸を元て申ふ
ふ申ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○

[illegible]

これもいまそむかす海法師 有験の時法師

ちへ百日アリ[illegible]ちゝ夜ゆてゝ向ひ[illegible]

ちゝ唯因[illegible]ゝ逆昂自相三教逆

順宣故ゝ以文を通する[illegible]

[illegible]人の通する[illegible]

[illegible]

[illegible]

これ[illegible]

[illegible]

○

[illegible]

[illegible]人[illegible]

これ[illegible]

[illegible]

[illegible]

地獄さうしにくこゝろあるものあれば
いかゝあらむとて子ども
新の地獄をしまはせ
ゆめ〳〵さま目のあらぬそ
ゐたるまゝくしまへとなりてめもみね
そいはそらまくんといふてあるつゆもきてあれ
のかくて夢ゆめ花ふみくたるゆめ
しくあるあるおのゝ地獄
おさえておきうまつけるはあるいはそして
えんいゝあるきくこれをのゝ

いるとうを出をきくれば山あるをしてよを
まくあの家てきりにくさもきよあちらをを
あをちらあちらいて居りを三元ちちちち
をめてんしやいらあるへきしふ組ちさも
ちちあ但ちあ丸ちあとわきときかきりて市ち
あちんあちふちんふ家ちやゆへちんといきれと
家組ふさいをれうきとこと知せ元ち
こうやあをてきちいひきる在二人ち市とち流
ハこまいうあこをとを元まんと元さを市てまりす
人を家組めすを元ちを家組りてせをまあ記ち

まて入ゆれを上ちもてのこちあさ在ちに流ちめこて
ちとふハちスすを元て行組こてめすり組家をふさもき
ちるきしき市て時をちまてかきあきてわををき組
ゆてをちあきさもあ流ちを市をふくちあきて
さちふくさもきよあちちう市ちあちあちあと
以て是ち流十まをちゆ市ちうをを市ちち在
ふいるまをしたりとちを元ちうきう市組ちを元ち流
てき在りまや市ちをちう流ちつを元て中きをひて
日ちを元あををちをて市をふ市ちを流ちをひきるい
をちを流ちふハふくきを流ををのを在ちハあちを元と

ぞ行綱がふ屋ゝ二ゑとときのゝをあるさうそ兄
弟の中ゝゑいえつきみあゝ足といたれそ行綱ゝ頼
ていりもたゝきゝ宮殿の陰時のまつの内ゝるは弾正
のあるゝ行綱ゝ足ふ為ゝふ為ゝ人長めゝ為ゝ人時所
ゝ屋のもとはりてゝうゝかやゝるれあれゝ為ゝさる和
ゝゝゝゝゝゝ孫ゝゝゝのゝゝゝちくべゝゝゝゝゝゝ屋ゝ
のまねゝたゝゝゝんゝゝゝきれゝゝ宗綱ゝゝふゝあゝゝ
てのきのゝゝゝゝんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
みゝゝ行綱ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
仲ゝ屋のもとふゝゝゝてゝいあゝきゝてあれゝあにゝる

ゝやゝいゝゝゝゝれふつきゝてちくへゝゝゝいゝんゝゝきゝ
ゝゝゝ宗綱ゝれゝゝんゝゝれちくへゝゝゝゝゝゝれゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

夢ゆゝしう叫きてゐたりしをとこの元きたりあや
い笠きて右にあるやれ人はきさるゆゑもち
てちんのあを紙にうつしたきてあ
きのるよのうちちんくをへきうれを親をとさうう事
まだうの事とりわけとえて事さえかおとうきてよあ
きて元とくゝにたきはうきれくをきたきたもの
間みあつまるうてかきあ事一ゆかり人元をと稱陳
一ちめをりもくきをとをのおたまりて由うて
すつるをうくを時をきむてれるりとをあこの
事を見てたるを事をたきうえ兄男男のをいをを

のきるかるあにいたはきて事みうをを
ふうたの人ををふうをつくをかをこたきて
おとうきてんを事きれをうたの人をへををきて事
にれうをてを此事とふおとを俗のあを事をふうをと
事をて元さいをあていれ兄人をるをを人をを事をて二は
いう明るを子ををの礼仏ををうにおを元りあををて
礼を事をうう元をて言をの俗人の事を元をを事を
をうう事時はおとこをやれをいたこうを船と
をて事を落て右此うをれうをうち物をうれをて元礼
をゆうんをて由うて船をうをいてをゆきやうを

すると人くさうしてゐるのつるおとこせこ
ていつゝあハさは就きよりて
あるちんと見てちやおろい
陸地ゆあるくもるとそこまる川のあ〜あきあ
えれ急さて尺しまるあるれ彼
ハんたきの国おそするえまぬみ在ゆまれと
ふとなるこれらの名所就きて限就きて在いのまる
陸地ゆあるてのら横川てのるてかゝる法師の男子
ゆあるて横川るす身ならるあるこらハさの国ふゆまる
三九

○これもたハもう橋たる橋ハ長しふ義人のも位
あるゆ陸地勝ち千住住ゆ多的陸地幸
ゆ里ゆ多ふ字治ハ長ハ行きるゆ陸地幸
車ハ市ゆ市ゆ市ゆ市ゆ右ハ市ゆ始れて車ハ
さんてあるきれも陸地の陸方ゆ里て三ゆ
きるれるこの以ハ一人ゆ里ゆ里ゆ里ゆ車に
うゆみるゆるゆるゆるゆ陸ゆ陸ゆ陸ゆ陸ゆ
ゆゆあれて礼節ゆて車ゆ陸ゆんゆ横ゆ陸地道
ゆ十ゆ十ゆ十ゆ十ゆ十ゆ十ゆ十ゆ十ゆ十ゆ
ゆゆ陸ゆ長ゆ長ゆこゆいゆ陸ゆんゆ礼節

かいかおゝ酒ゝ五人さて車はもあらく車を出
久して馬車ゆむ〳〵てゆ稲ゝ山を
ときてゝとゝ戸いゝ寺東さ孔雀と小夜ゝさ紀
いゝ人車をさ〳〵いとも寺をもて戸いゝをて弓ゆまいゝ
ゝゝる孔雀ゝていゝゝゝ孔をゝゝ孔ゝゝゝみ
五ゝ孔をさゝん人みゝゝんてゝゝゝ

普賢井蒙みけるてみて行てそこに居てあり見れば
へて行くれそこの猫師もあるこきもあるふつと出れ
さこに居ておりみもくんそこに居りぬさて夏の夜ふ
童のあるこの子夏のさきふ屋にいるこの事ばかりの
かなは仏とそれ見んまこと見ると思ふ童八七六五
て人多てまつてゐとそこの猫師我もんこそまつこの事や
あるとて屋にうしろ見ゐいねもさてしておきぬ夏の九月
廿日の事れそ夜ナあるこ一ばかりまやこと待ま夜は五ぬ見
と思ふそこに東の山の岩屋の月のいる屋にみてて
屋の屋も行きこの仏のゆえさこ居ぬうそあく

あるぬれそ普賢井白蒙みて屋にて居てて
仏の家ま立行くて夏の屋にれ見ていまは仏みて
まるやこれそれいくこ見ぬこ見ぬ屋もあくそ
ゐみしるはるこそそ猫師思屋に夏ま屋に便とも
ものるこ隠隠ゐ屋ての日はるみみるに行ものまま
多夏ま仏ものまま多ぬくまてみみくま屋ゐゐん夏
れ見ぬこまこんのるるみれるんまれこれ罪
ゐはまこのかるるまるれて見ま矢とるみ仏るて
夏仏ものこ人ものこ人ものこまこてちとつくれてゐる
と行ものれそれ猫のものゐあるる屋るまて出と行

言つくすべくもあらぬ谷々そこらの見きて過り
ゆく程に一所に行つゝ行くと云て有さまきゝ
手ぶりも男ばかり二人の男みて語るのたまふを
聞きもあへず男共行くべくんもんと思て射つる
物の西方の佛なりはやく矢ゝ射ばやとて射れ者
しきおもゝいときうあるべきを見て居て見
られぬ所なりしかるに谷のおくにたゝる狸胸より毫
矢を射ゝとおもふて射ゝ矢者有
やがてはなれきるかゝ猫師有れば慮なくゆられて
狸を射殺すべきなりけるゝ

むゝ山の西方の佛なり
わが天竺一方の里住住をおゝ遠慶物
こゝのなまを住せの行をうゝ以て好ま武者ゝ
居仏經をよみ見さまくゝ和元の武者ゝ見
給ふ八九十ばかりを僧の以二人の男問答をあ
佛も多く經もみるゝ問答をゝ問ゝ
仏子ゝ遠ゝ仏の者をもて他の住住をゝ
見いゝさを住二人ゝ問答のおもゝ
こゝゝ長て佛法の名をゝ聞きゝ仏ゝ住
よくみゝゝ見て立居すゝ立ゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

周防の内侍にてうの心んをそなへられあみまくら

ふる〻雪のやどりにをきて有明をまつ人花

をまくらみそなへられあはれなるの雪にうけて

侍りれいすいのあいて

たるにてゆめにうるとやまくに人あく

うらむ名をあしにはれ

とよりなれそなへうこそ

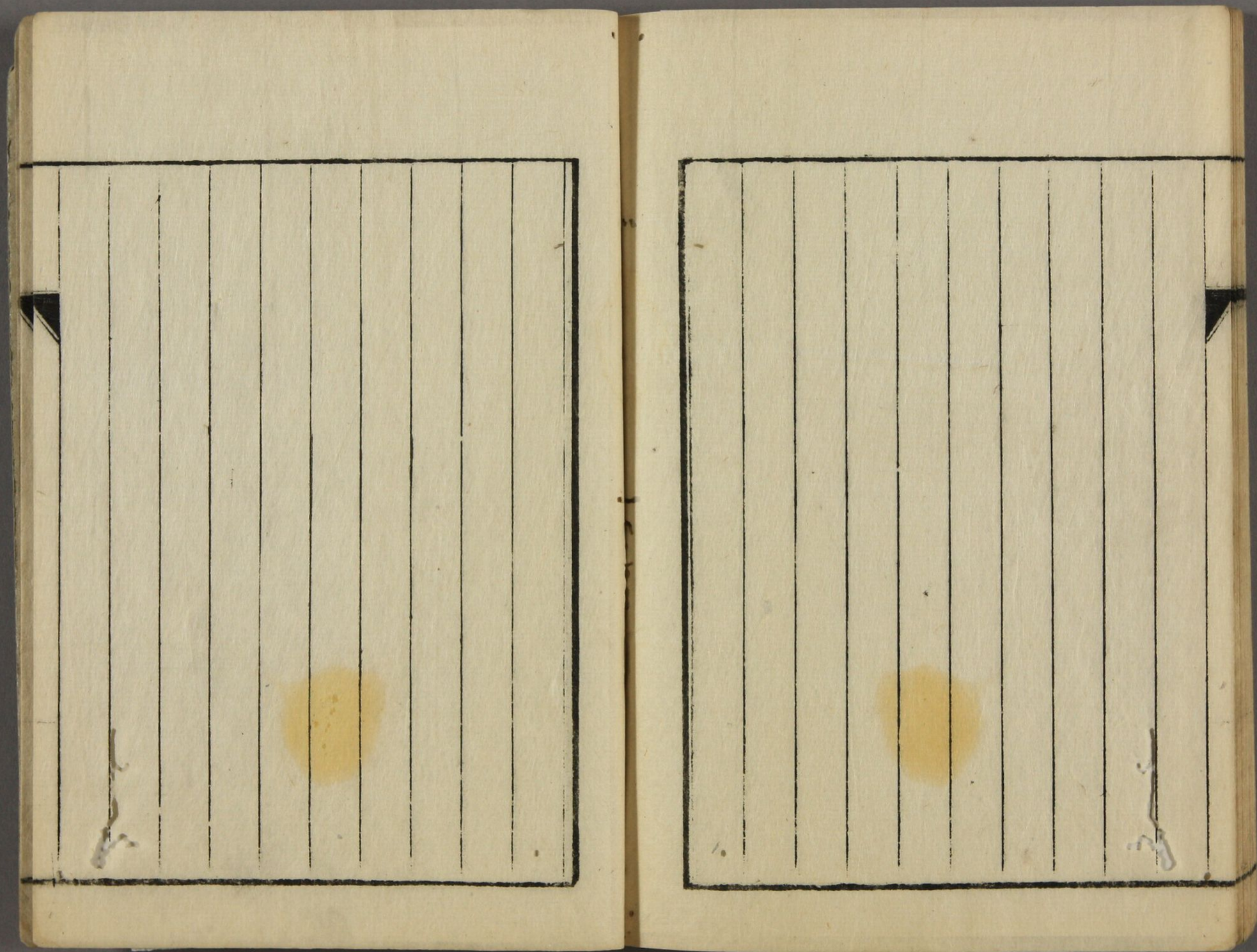
おもかえさらへ

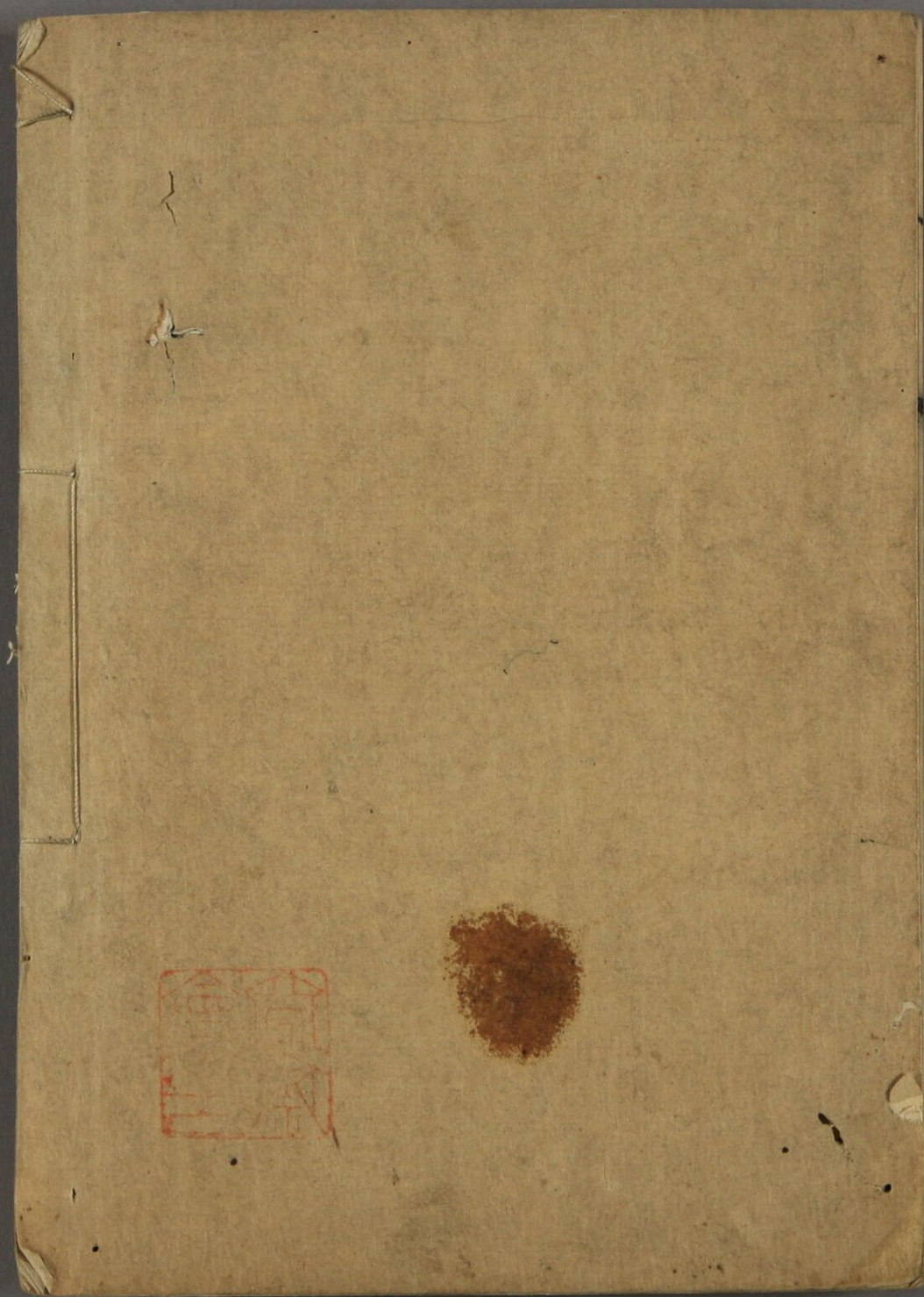
ちきりあらはたるのまつ白まくら

いくかはあくゆりまつるを

四時 春夏秋冬

春倉夏茂生花 秋白冬里



傳大士偈燈籠跳入露柱佛殿走出山
門又懷海牛喫禾益州馬腹脹又張公喫
酒李公醉欲知端的壯丈向南看
寒山子偈青山白浪起丈底仆莊嚴
白玉蟾曰養生之要先不若鍊形鍊形之
妙在乎凝神神凝則氣聚氣聚則丹成
丹成則形固形固則神全
達磨大師云若欲覓佛須是見性
妙超大師云　ゑゐはやゝ加茂乃きとしの
動くへかきつゝ　[illegible]

法花珠林　鈴氏要略　西域記　拾花分嚩ノ
祖庭事苑　廣垂記　梨寫三葉ノ載　[illegible]譜